



■ テーマ名

- ① 資産運用、株式投資 (例「幸せな社会のつくり方を考える」)
- ② コーポレートガバナンス、IR
- ③ 『世界を創る日本企業のみかた』(ロボット機械・電子部品等の具体的事例)

■ キーワード

資産運用、株式投資、コーポレートガバナンス、IR (Investor Relations)、企業分析・評価

■ 研究の概要

- (1) 1994～2013年に、野村総合研究所・野村證券(金融研究所)・野村アセットマネジメントの証券アナリストとして、企業を調査し、投資家に向けて分析を発信してきた。電機・機械・素材・自動車(部品)・エネルギー関連企業を中心に、経営者やIRなど約1万人の取材と約1千の工場・施設等の現場調査に基づき、レポートを作成した。産業のエコシステムの横断的な現地調査による競争力比較を行ってきた。
- (2) 証券市場にも関与し、国内外の機関投資家と「企業」のあり方を議論してきた。資産運用会社で日本株を専門とした経歴を持ち、現在はコーポレートファイナンスを専門としている(日本証券アナリスト協会(検定会員)、日本証券業協会(一種外務員、内部管理責任者資格))。2015年以降、東証上場の自動車部品企業「カネミツ」の社外取締役を兼務し、実効力のある企業統治を模索している。
- (3) 2017～2020年度は科研費(挑戦的研究)採択課題「アジアの生産財エコシステムの付加価値データベース分析」を行い、2022～2025年度は科研費(基盤研究(C))採択課題「産業用ロボットエコシステムの多様性における各国Slerの機能分析」に取り組んでいる。

■ 他の研究／技術との相違点

セルサイド(証券会社)とバイサイド(機関投資家)での各10年程度の(アナリスト)実務経験に加え、10年弱の社外取締役経験も持つため、実務と理論の融合を意識している。

■ 関連実績

- (1) ディスクロージャー&IR 総合研究所委託「東証上場企業統合報告書レビュー」(2020年～)
- (2) 日本証券アナリスト協会代議員(2016～2020年)、同試験委員会委員(2023年～)
- (3) (中学校・高校)教員免許更新講習、(小学生向け)「こども大学」の講師(2021年～)ほか
- (4) 夢ナビライブ「私の「お金」:地球環境を守り、世界平和をもたらすもの」(2022年)
- (5) 夢ナビライブ「『SDGs+多様性=経済学』を理解すれば日本が変わる」(2023年)

■ 関連業績(特許・文献)

著書『世界を創る日本企業のみかた ―ビジネスミクロ分析のすすめ―』(単著、大学教育出版、2023年)

著書『工作機械・ロボット産業のエコシステム』(単著、晃洋書房、2021年)

著書『電子部品大辞典』(共著、工業調査会、2002年)ほか

日本証券アナリスト協会認定アナリスト試験テキスト「財務分析」第2次レベル「財務分析(応用)」(共著)

■ 研究者から一言

委員会活動や講演会等の詳細は「神戸学院大学 情報の公表 教員総覧」のHP参照